

令和3年8月24日

宿毛市議会議長 寺 田 公 一 殿

議会改革調査特別委員長 岡 崎 利 久

委 員 会 調 査 報 告 書

令和元年第3回宿毛市議会定例会において、本委員会に付託され、閉会中の継続調査となっている「宿毛市議会の改革に関する調査について」、会議規則第110条の規定により、下記のとおり調査の経過概要及び結果を報告する。

記

1 調査の経過概要

(1) 調査目的

本市議会が市民の付託に応え、二元代表制の中で宿毛市政の一翼を担う機関としての役割を積極的に果たすべく、議会運営のあり方など改めて見直しを行い、これからの地方議会があるべき姿を調査研究するためのものとする。

(2) 委 員

岡 崎 利 久	今 城 隆	堀 景
三 木 健 正	山 戸 寛	野々下 昌 文

(3) 調査方法

初めに委員が議会活動の中で感じた疑問、問題点等を抽出し、委員全員が課題意識を共有する中で、解決のための方法を調査研究することとした。

その過程で、調査項目を

- (1) 議会運営の見直しについて
- (2) 議会機能の強化について
- (3) 開かれた議会づくりについて
- (4) 政治倫理について

に分類し、先進地視察や事例調査等をする中で、項目毎に調査研究を行った。

2 調査日程

審 査 日 程 表

回数	開催日	曜日	審 査 内 容
1	令和元年 10月10日	木	○議会改革に向けた課題の抽出
2	11月12日	火	○調査項目について
3	11月27日	水	○調査項目の決定、協議
4	12月18日	水	○調査項目の協議
5	12月25日	水	○先進地視察の調査項目の協議
6	令和2年 1月27日	月	○先進地視察の調査項目の決定
7	2月13日 ～14日	木～ 金	○先進地視察（大分市議会、佐伯市議会）
8	3月19日	木	○先進地視察の反省 ○調査項目の協議
9	8月4日	火	○今後のスケジュール等について
10	8月25日	火	○調査項目の協議
11	9月16日	水	○調査項目の協議
12	11月18日	水	○調査項目の協議
13	12月16日	水	○調査項目の協議
14	令和3年 1月29日	金	○調査項目の協議
15	3月22日	月	○調査項目の協議 ○執行部との意見交換
16	4月12日	月	○調査項目の協議
17	6月23日	水	○調査項目の協議
18	7月14日	水	○調査項目の協議
19	8月3日	火	○調査項目の協議
20	8月16日	月	○意見集約
21	8月24日	火	○委員長報告承認

3 調査結果

(1) 議会運営の見直しについて

本市議会は、宿毛市議会会議規則はもとより、長年にわたる議会活動の積み重ねによる申し合わせや先例などにより、議会運営を行ってきたところであるが、議会活動の更なる充実のためには、これまでの慣習に流されることなく、新たな取組みに向けての努力を怠ってはならない。

そのため、本委員会では、議会運営のあり方について、議会活動を通じて感じた問題意識をもとに、熱心な討議を行ない、以下の取組みを行うことを全会一致で決定した。

①議案質疑の発言時間の短縮

本市議会における議案質疑の発言時間は、答弁を含まず70分以内としているが、これまで時間を使い切った事例がないことや時間を短縮することで簡単明瞭にその意をつくし、冗長にならないことに資することなどから、質疑の発言時間の短縮を提言するものである。

なお、一般質問の発言時間についても協議したが、様々な意見が出され、意見集約には至らず、現行の90分（答弁含む）以内を維持とする。

*すでに当委員会から議長に提言し、現在では、質疑の発言時間は答弁を含んでの60分以内と変更している。

②「会派代表者会」並びに「議会だより編集委員会」を会議規則に規定すること

本市議会の会派代表者会並びに議会だより編集委員会について、その運営は、申し合わせを基に行ってきたが、会議規則における「協議又は調整を行うための場」に規定し、正規の議会活動として位置付け、公務災害や費用弁償の対象とすることができるよう提言するものである。

*すでに当委員会から議長に提言し、現在では、会議規則に規定している。

(2) 議会機能の強化について

南海トラフ巨大地震などの大規模災害発生時に議会機能を維持し、予算審議などの重要議案の審議が遅れて市政運営に支障が出ないようにするため、議会BCP（業務継続計画）の調査研究を行った。

先進地視察や他市議会事例の調査研究、執行機関と意見交換を行うなど議論を進めてきたが、本市では、南海トラフ地震の発生が高い確率で危惧されており、大規模な災害等が発生した非常事態時においても、議会の機能を停止することなく、その責務を果たすために、本議会BCPの策定は必要であるとの結論にいたった。

そのため、本委員会としては下記の取組みを提言することを全会一致をもって決定した。

①宿毛市議会業務継続計画（議会 BCP）の策定

東日本大震災のように市域が壊滅的な被害を受けるような大規模な災害が発生した場合、議会の運営面で考えると、会期中においては会議が中断・流会し、また、告示後で開会前であれば、会議が開けないまま流会となり議案の審査が行えず、東日本大震災で問題となったように、重要な議案が首長の専決処分による対応となるなど、議会としての役割が十分に果たせないおそれがある。

また、議員が個別に執行部設置の災害対策本部に連絡等を行った結果、執行部の災害対応に支障が出たという他自治体の事例もあることから、議員自身の行動が、その後の災害対応に影響を与える可能性があることを考慮し、発災時の議員自身の行動については、一層の慎重さが求められるところである。

以上のことを勘案のうえ、本委員会として、大規模な災害が発生した場合においても議会としての役割を適正に果たしていくこと、また、議会として、本市執行部の災害対策本部が災害対応に専念できる環境を整えていくことを目的とした議会業務継続計画（議会 BCP）の策定を提言するものである。

なお、当委員会として、議会 BCP（素案）を策定したので、今後の策定に向けての参考とされたい。

（3）開かれた議会づくりについて

現在、議会情報は定期的に発行される「議会だより」やホームページで発信しているほか、ケーブルテレビによる本会議の生中継やインターネットを通じた過去の映像配信、会議録の閲覧、並びに議会報告会の実施など市民が議会活動に接するための環境は一定整えられているが、さらなる取り組みとして、議会モニター制度について調査研究を行った。先進地を視察するなかで感じたことは、モニターの方の世代が偏っており、人選が難しく、全世代の意見を公平に聞くことができる制度とはいえないということである。まずは議会報告会を充実させることが肝要であり、モニター制度は時期尚早であるとの結論に達した。

（4）政治倫理について

政治倫理条例の制定について調査研究を行った。高知県 11 市議会の条例制定状況は、5 市が制定、5 市が議会基本条例に政治倫理に関する規定をし、2 市が両方を規定している。

本委員会として、県下各市議会の事例を調査研究の上、協議した結果、本市議会では議会基本条例第 17 条に議員の政治倫理について規定しており、政治倫理条例については、現段階では制定におよばないとの結論となったが、以下の項目について議論がなされた。

①コンプライアンスについて

一般にコンプライアンスは「法令遵守」と訳されているが、自治体議員にとってのコンプライアンスには、もう少し大きな意味があると考えられる。なぜなら、自治体議員という立場は、その自治体の住民から選挙によって選ばれ託されたもので

あり、公職に就いているのは、その人が「良識の人」であると住民が認めたからに他ならない。逆に言えば、良識の人であるからこそ、議員は住民の代表として、その自治体がおかれている現状を見据え、目指すべき未来を語り、住民がその地域で幸せに暮らせるよう、知識を蓄え、知恵を絞ることを託されている。そんな自治体議員に求められるコンプライアンスとは、法令を守ることはもちろん、住民の模範として行動することが期待されている。私たち市議会議員は、自治体の中でも強い存在とみられているから、軽い気持ちの言動でも周囲は議員に気を遣うこととなる。だからこそ謙虚さを忘れずに、自分の言葉や行動を職員や住民がどう受け止めるかを常に意識し、議員一人ひとりが自らを律して、議場内のみならず、議場外のあらゆる局面において、コンプライアンスの徹底を心するべきである。

②兼業・兼職について

兼業・兼職についての調査研究を行ったが、このことについては、議員の請負禁止について、禁止の対象となる請負の範囲が明確でないことは、立候補しようとする者にとって懸念材料の一つである。全国市議会議長会においても、議員の請負禁止の範囲を明確化し、請負に関する規制を緩和するための法改正を行うことについて、政府与党において議論の深化と加速を図るよう要望しており、今後の地方制度調査会などの議論を注視していきたい。

③議員の地区長への就任について

議員の地区長への就任についても協議し、法令では禁止されていないことや規模の小さい地区においては地区長のなり手がいないなどの諸事情も考えられることから、条例などによる禁止はするべきではない。しかしながら、市民全体の代表として、高い倫理的義務が課せられていることを深く自覚し、良識と責任感を持って、品位の保持に努めなければならないことなどを勘案し、当委員会としては、一部地域の利益代弁者という疑いを持たれかねない地区長への就任は自粛するべきとの結論に達した。